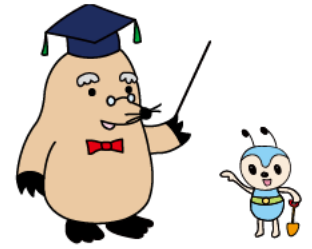


小牧南遺跡 第3次 (No.3)

表土掘削完了！意外なものを発見！？



小牧南遺跡では、全調査区5900㎡の表土掘削が完了しました(写真①)。

竪穴住居跡や土器片がぞくぞくとみつかっています。

また、先日はこんなものが発見されました(写真②)。

これは、竪穴住居跡(黒い部分)に掘られたキツネの穴です。重機による表土掘削中に時々、キツネの姿が目撃されていました。遺構の埋土は柔らかいので、巣穴を作ろうとしたようです。土層断面などが記録できなくなるので、少し困っています。



写真① 調査区の東からのながめ



写真② キツネの穴(よく見ると足跡もあります)

手袋と比べると、巣穴の大きさがわかるわ。いったい何匹住んでいるんだろう??



アーリーちゃん

発掘された遺構・遺物の紹介



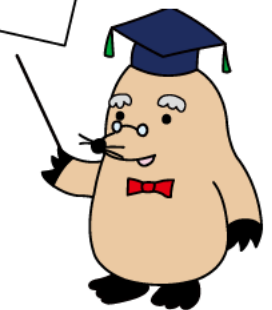
これは埋甕炉(うめがめろ)と言って、甕の上半部を地中に埋めて、炉として利用したものじゃよ。前回の2次調査で見つかったものより装飾の少ない甕が使われているのう。時期は前回のものと同じ縄文時代中期と考えてよかろう。



これが2次調査で見つかった埋甕炉ね。やっぱり甕の上半部だけが使用されているわ。



アーリーちゃん



モグ博士

【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課 四日市整理所
〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1
電話番号:059-363-3195/ファックス:059-363-3196
E-mail: maibun@pref.mie.jp